

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供に合わせた支援プログラムを作ることができています。	1人ひとり個別支援計画を元にプログラムを作り、振り返り時などに相談や悩みを受けて柔軟にプログラムを変えるなどしています。	今後も1人ひとりに合わせた支援プログラムを作ることを意識しながら、日ごろの悩みや相談事を聞き可能な限り柔軟に対応してまいります。
2	毎支援後振り返りの時間があり、子供達の相談や保護者の悩みを聞くことができています。	振り返りの時間で支援内容や支援での様子の報告をさせていただき、更にお悩みなどないか確認しています。細かなことでも指導員や児発管に情報共有を行っています。	今後も保護者からの相談などを聞き、振り返り時間内で収まらない相談などは別の機会を設け、事業所内で情報共有出来るようにしていきたいです。
3	積極的に関係機関との連携を図り、利用される方への支援をより良くしようと動いています。	相談やお悩み事によって必要だと判断すれば保育所や幼稚園へ見学など実際の様子を見に行かせていただき、先生方と情報共有を計り、保護者や関係機関や支援につながるきっかけを作っています。	今後も必要であれば保育所や幼稚園へ関係機関への見学や情報交換を行っていき、子供達により良い支援を提供できるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園・幼稚園・小学校など利用者以外の地域の子供達との交流の場が少ないです。	イベントなどを行うが、参加希望者が多いため外部の子供達の参加が難しいです。	今後必要であると判断させていただいた場合は、きらり利用者以外の地域の子供達との交流の場を設けたいです。
2	SNS等をしていないため、外部への自分たちからの発信力が乏しいです。	現状1人ひとりが抱えている業務量によりSNSなどの発信に手を回せていない状況です。	上長と相談しながら、業務量の調整や必要であればSNSの運用や自分達から発信出来るツールを活用していきたいです。
3	マニュアルの周知があまりされていないです。	契約時にマニュアルの説明や防災などのことは案内をしているがそれ以外定期的な周知がないため忘れられている方が多いです。	イベント等でマニュアルについて説明や周知を行い、認識されるようにしていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 年 月 日 回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	4		1	スペースは座学にはいいけど少し体を動かさせたらいいかなと思います。運動面にも力を入れてほしいです。	パーティションを動かすことで運動する場所の確保はできます。運動面の支援が必要な子には実施しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3		3	オープンスペースなので、仕切りが必要な人にはしていますか。	パーティションを使い、隣の仕切りをとっています。子供によっては細かく仕切り、環境の構造化をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24			3	個別で指導して頂いていますが、言語聴覚士による指導も気になります。	研修やきらりの別の事業所にいる言語聴覚士への質問や学びを得て、支援に活かしていけるように考えています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27				子供に合わせて支援プログラムを作ってくれています。	引き続き利用者の目標やお困りごとに合わせて支援プログラムを作っていきたいです。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25			2	子供の近況などお話しを聞いてもらえる時間を作っていただいています。	定期的なモニタリングや必要に応じて別途相談の時間などを作らせていただき、より子供や保護者のニーズに合わせて作成していけるようにしていきたいです。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	3		4	日が浅く時々来所するので分からないです。	必要な子には固定のプログラムを行っていますが、お困りごとの変化や子供の成長に合わせて変化させることもしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	5	11	あまり聞いたことがないです。	現在、交流する機会を作るか未定ではあるが、協力していただける幼稚園等からのお声掛けなどあった場合は検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27				契約時や質問した際にお答えいただいています。	引き続き、伝え漏れがないように留意しながら、ご理解いただけるようにお伝えしていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				契約の時や更新していただいた時に説明してもらいました。	引き続き、伝え漏れがないように留意しながら、ご理解いただけるようにお伝えしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	8	2	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	26	1			振り返りの時間があるので、お話しすることができています。	振り返りの時間以外でも必要であれば相談の場を設けてお話をさせていただくことができます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1		2	毎回指導員から、指導内容を聞く時間があるので質問ができ、子供への様々な対応に対しての気づきがあり参考にさせていただいています。もう少し頻度を多くしてほしいです。	振り返りの時間以外でも必要であれば相談の場を設けてお話をさせていただくことができます。是非お声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				1	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	10	3	8	季節ごとになのか、イベントが時々ありますがまだ参加できていないので分かりません。	イベント開催は不定期的に行わせていただき、多くの方がご利用されていて、定員オーバーで参加できないこともあるので、多くの方に利用していただけるように機会を増やせればと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	3		2	何かあったときは相談や保育園に見に行ってください、情報共有してもらっています。	引き続き、相談の場を設けさせていただきます。必要であれば事業所として可能な限り保護者の要望に応え、できることをしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	6		5	公式LINEにてお知らせを見たり、振り返り時などにお伝えいただいています。	公式LINEでイベントなど必要なことは皆様にお伝えさせていただいています。公式LINE以外でも伝えられる方法を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		9	日が浅いため、まだわからない。	マニュアルの周知はイベントや定期的な防災訓練で行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	1	14		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		11	事故もケガも事業所で起きていないためわかりません。	事故等が発生した場合の対応などは定期的なMTGやマニュアルが作成されているため、マニュアルに従って行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	2		1	とても楽しみにしています。帰宅後もご機嫌に過ごしています。来る前は嫌々言っています。	ありがとうございます。今後もご期待に添えられるように努めてまいります。嫌々などにも状況把握し改善できるようにMTGなどで検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	3		1	すぐに相談しやすい環境、雰囲気だと思います。	ありがとうございます。今後もご期待に添えられるように努めて行き、良いところより良くなるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		児童にあったスペースの提供をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	基本的には適切だと思います。	職員の休みや子供達の利用が多いときに見る目が足りなくなったり、事務所が手薄になることがあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			教材スペースの整理棚の増設は検討したいです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		カメラ導入・ジョイントマットなど子供に適した部屋の環境を整えて支援ができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的に行っています。	全ての指導員が理解してきているとはいえないです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の要望を必ず報告しています。改善できるようにMTGなどと考えています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月1回の1on1などで行っています。その都度改善することや悩みなどをMTGや1on1などで聞けるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年1回、アンケートを実施させていただき、業務改善を全体に伝えています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		学ぶ機会を頂いています。外部講習などスキルアップになっています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		MTGなどで意見やアドバイスを言い合い、支援プログラムの公表を保護者にも振り返りなどで伝えています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		年1回のアセスメントや定期的なモニタリングで子供たちの様子や課題などをお聞きし、児童発達支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画を作成し、指導員達にも共有し、支援に繋げられるようにしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画を作成し、指導員達にも共有し、支援に繋げられるようにしています。支援の様子などを見て計画に沿って支援が行われているかも、見ています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		定期的な支援は指導員個人で行うことが多いが、小集団やイベントなどは事業所内で相談をしながらプログラムを立てています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個別だけでなく、小集団の時間を行っています。保護者から日常の話を聞いた時や、子供の様子を見ながら変更するときもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		事前打ち合わせと支援後の振替を行っています。指導員同士の認識のずれがないよう心がけています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前打ち合わせと支援後の振替を行い、指導員同士の認識のずれがないよう心がけています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		基本的にできているが、記録を書く時間が確保できていない指導員もいます。	前回の記録ができていない状態で支援がある時もあるので、職員同士で確認していきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			まだ仕事の流れを身に付けられていないため遅れることが多々ある指導員もいます。仕事の効率や流れを早く覚えていけるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育所や学校など訪問や会議などができています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所や学校、他事業所などに訪問や会議などで情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		茨木市が委託している機関支援（こども発達支援センターwill様）のアドバイスを受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保護者の方から行事ごとや普段の様子などを聞いています。	利用していただいている時間帯に地域の活動に参加することがないため、地域の関係機関を協力し、参加できる場ができないかと模索していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		振り返りなどで保護者と密に話しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者向けのイベントも不定期で開催し、有益な情報を得てもらえるように取り組んでいます。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や、説明していただきたいと保護者から声掛けがあったときに行っています。基本的には管理者・児発管が対応しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎支援の振り返りや、事業所内相談など行っていい範囲で保護者からの相談をお聞きしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		不定期ではあるがママカフェなど保護者が交流できる機会を作っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相手に対して親身に対応できるように指導員と管理者が協力・連携を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEでの発信をメインに行っています。	公式LINE以外のSNS活動も取り入れられるように検討していきたいです。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者の方たちに個人名など見えないようにするなど気を付けています。 名前が書いてあるものはシュレッダーなど外へ漏れないように対応しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		外部の不審なことに合わないよう、安全面を配慮して行っていません。	開催については考えていませんが、必要に応じて行えるように話し合っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的にMTGで話し合いを行い、実践しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的にMTGで話し合いを行い、実践しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に情報確認と保護者との密なコミュニケーションを行い、万が一に備えて対応を決め、事業所内全体で周知しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		今のところ対象児はいませんが、イベント等でお菓子を配る際などは参加する子供の保護者に事前に確認し注意しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に避難場所の確認や災害時連絡方法の確認などを周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止に向けて、起きた場合はMTGで報告し、改善できる場所はすぐ伝え、実践するよう努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		MTGで全体に内容を周知や、会社全体での研修などを定期的に行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				